

財務省告示第四百十九号

個人向け国債の発行等に関する省令（平成十四年財務省令第六十八号）第四条第十四項の規定に基づき、平成二十年四月十五日に発行した個人向け国債の発行条件等を次のとおり告示する。

平成二十年四月二十五日

財務大臣 額賀 福志郎

一	名称及び記号	個人向け利付国庫債券（変動・十年）（第二十二回）
二	発行の根拠	特別会計に関する法律（平成十九年法律第二十三号）第四十六条第一項
三	法律及びその条項	社債等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号）以下「振替法」という。の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。
四	発行額	額面金額で六百二十一億七千二百七十八万円
五	最低額面金額	一万円
六	振替単位	振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。
七	発行日	平成二十年四月十五日
八	発行価格	額面金額百円につき百円
九	初期利率の適用利率	年〇・五七パーセント
十	第二期以後の利率の適用利率	年当たり、各利払期における利子計算期間開始日前行われた発行から償還までの期間が九

十一 初期利子

年五か月超の十年利付国債の直
近における入札（当該開始日の
属する月に行われた入札を除く
）。の結果に基づき算出された
複利利回りから、〇・八〇パー
セントを控除した率。ただし、
控除した率が〇・〇五パーセン
トを下回るときは、その率は〇
・〇五パーセントとする。
平成二十年十月十五日を支払期
とし、次の算式により算出した
金額を支払う。ただし、支払期
が銀行休業日に当たるときは、
その翌営業日に支払う（以下、
次号及び第十三号において規定
する期日について同じ。）。

$$\text{償還金額} \times \frac{0.57}{100} \times \frac{1}{2}$$

十二 第二期以後の利子

毎年四月十五日及び十月十五日
を支払期とし、各支払期におい
て、その日以前六月間に属する
利子として、次の算式により算
出した金額を支払う。

$$\text{償還金額} \times \frac{\text{第十号に規定する第二期以後の利子の適用利率}}{100} \times \frac{1}{2}$$

十三 償還期限

平成三十年四月十五日

十四 償還金額

額面金額百円につき百円

十五 払込期日

平成二十年四月十五日

十六 払込場所

日本銀行の本店又は支店

十七 中途換金

中途換金の買取りは、平成二十

の取扱い

一年四月十五日以後において行

中途換金の特例

うこととし、その買取金額は、
 次の算式により算出した金額と
 する。

$$\text{買取金額} = \text{前号による取扱いのほか、個人} \\
 \text{向け国債を有する者（相続税法} \\
 \text{（昭和二十五年法律第七十三号} \\
 \text{）第二十一条の四第一項に規定} \\
 \text{する特別障害者扶養信託契約の} \\
 \text{受益者を含む。）が、死亡した} \\
 \text{ときに、その相続人が、又はそ} \\
 \text{の居住する市町村（特別区を含} \\
 \text{み、地方自治法（昭和二十二年} \\
 \text{法律第六十七号）第二百五十二} \\
 \text{条の十九第一項の指定都市にあ} \\
 \text{つては、当該市又は当該市の区} \\
 \text{とする。）の区域において、災} \\
 \text{害救助法（昭和二十二年法律第} \\
 \text{百十八号）による救助の行われ} \\
 \text{る災害が発生し、当該災害にか} \\
 \text{かつたときには、当該個人向け国} \\
 \text{債を有する者が、平成二十一年} \\
 \text{四月十五日以前であつても、当該} \\
 \text{個人向け国債の中途換金を請求} \\
 \text{することができるものとし、そ} \\
 \text{の買取金額は、次の区分に応じ、} \\
 \text{それぞれ別の算式により算出した} \\
 \text{金額とする。}$$

(一) 平成二十年十月十五日から

平成二十一年四月十五日前ま
での間の場合

貸付金 + 経過利子に相当する
の金額 - (初期利子に相当する
の金額 + 経過利子に相当する
の金額)

(二) 平成二十年十月十五日前の

場合
貸付金 + 経過利子に相当する
の金額 - 経過利子に相当する
の金額

日本銀行

十九 元利金支
払場所